

## 国際関係学科の学生が総合地球環境学研究所のオープンハウスで研究成果発表！

2016年8月5日（金）、愛知県立大学外国語学部国際関係学科の「研究演習（国際文化／国際関係）」（授業担当者：亀井伸孝）の履修学生たちが、京都市北区の総合地球環境学研究所（以下、地球研と略記）のオープンハウス（一般公開）で、研究成果の発表を行いました。

地球研は、地球環境問題を人間と自然系の相互作用の問題として解明することを目的として設置された研究所です。

同演習の履修学生たちは、2013年以降、毎年夏に地球研を訪問しています。世界各地でフィールドワークを実施している地球研の研究者たちと合同で、ポスター研究発表会を行ってきました。従来は、学生と所員たちによる非公開の行事でしたが、毎年の成果発表が所内で好評であったことから、今年は初めて地球研オープンハウスの公式プログラムのイベントのひとつとして位置づけられました。

当日は、地球研全体で約800人の来訪がありました。シニア世代から、中学・高校生、小学生たちまで、多くの市民が本学学生によるポスター研究発表会の場を訪れ、学生たちとの議論を行いました。

大学教育におけるアクティブ・ラーニングの必要性が強調される今日、学生が自ら調査し、成果を発表することはいっそう重要性を増しています。今回の行事では、それらに加え、一般市民や中学校の生徒たちの知的好奇心に応えるための対話の場に参加するという形で、社会貢献の一環をも担うことができました。

本学の研究教育の活性化のために、今後ともこのような取り組みを進めていくことが期待されます。



### ■地球研オープンハウスの全体概要

行事名称：総合地球環境学研究所一般公開「地球研オープンハウス」

とき：2016年8月5日（金）12:00-16:30

ところ：総合地球環境学研究所（京都市北区上賀茂本山 457-4）

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

後援：京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会

参加者数：地球研全体で約800名の来場者があった

### ■地球研オープンハウス内の当該企画概要

企画名称：「世界と出会う大学生：愛知県立大学と地球研のコラボレーション企画」

企画説明：

環境問題の根底にある「文化」の問題とは一体？！

愛知県立大学外国語学部の学生たち、そして地球研の若手研究員たちの視点からポスター発表をします。ポスターセッション終了後は発表者との対話、交流を楽しみましょう！

[大人向けのイベント、中学生以上]

## ■発表内容

愛知県立大学国際関係学科からの出展作品：17人による13件のポスター発表

### □グループ研究発表：テーマ「フィールドワーク報告：身近に出会えるタイの文化」

愛知県近辺で観察・経験できるタイの文化（料理、食材、古式マッサージ、ムエタイ、カービングなど）に関するフィールドワーク実習の成果報告（8人による4件のポスター）

### □個人研究発表（卒業論文完成報告／卒業論文進捗報告／個人自由研究／教育実践報告）

セネガル、サウジアラビア、ネパール、タイ、フィリピン、日本などにおける現地調査成果、現地調査実施計画、文献研究などの報告（9人による9件のポスター）

## ■学生たちの反応

- ・卒業論文に向けて、多くのコメントからヒントを得た。
- ・プロの研究者たちから根底的な質問をもらい、調査計画を改善するために役に立った。
- ・当日上映した映像資料を、プロの研究者たちから子どもたちまで、多くの人が鑑賞してくれた。
- ・専門家との面識を得て、議論し、さらに文献などを紹介していただいた。

## ■地球研所員の反応

- ・オープンハウスでは子ども向けの企画が多い中、今回、おとな向けの研究成果公開企画が含まれたのは大変よかった。地球研と大学と、双方にメリットがあったと思う。
- ・これにアイデアを得て、所内からももっと多くのポスター発表を出していきたい。
- ・時期が合えば、今後とも同様の取り組みを続けたい。

## ■関連リンク

総合地球環境学研究所

<http://www.chikyu.ac.jp/>

地球研オープンハウス 2016

<http://www.chikyu.ac.jp/openhouse/2016/>

## ■謝辞

総合地球環境学研究所の阿部健一さま、田中樹さま、三村豊さまほか、多くの所員の方がたのお力添えをいただきました。また、本件の合同発表企画を実施するために、愛知県立大学後援会の助成をいただきました。



文責：亀井伸孝（国際関係学科）

写真（上）総合地球環境学研究所提供／（下）亀井伸孝撮影  
いずれも2016年8月5日、総合地球環境学研究所にて撮影